

平成30年度 川西市立明峰中学校  
『明峰中学校をよりよくするためのアンケート』による学校関係者評価

明峰中学校は11月に『明峰中学校をよりよくするためのアンケート』を実施されました。保護者の皆様には、お忙しい中ご協力をいただきましてありがとうございました。先生方はアンケート結果を分析し、いただいたご意見やご要望にも目を通され、協議して3学期や次年度の課題として活かそうとされていることを聞いています。ここではアンケート結果についての学校評議員の評価を、合議により下記のとおりご報告いたします。

## ●●● 総 合 評 価 ●●●

1. 評議員会は、明峰中学校が平成28年度から「学校の取り組みを生徒や保護者がどのように評価されているのか」を把握するために、アンケートを全生徒・全保護者・全教職員を対象に実施されている「開かれた学校運営」に賛同します。生徒や保護者の意見や思いにできるだけ耳を傾けようという心がけ、改善すべき点は改善しようと努力されている姿勢はとても評価できると考えます。生徒の荷物の自己調整や学期ごとの各教科の評価資料の配布、学校連絡メールの有効活用、部活懇談会の5月の統一実施などは改善の結果と聞いています。また、重点目標である「自分から進んであいさつできているか」「たがいを認め合い尊重し合っているか」「主体的に考え行動できているか」を評価項目に入れて、目標に対する生徒の状況を把握して、先生方の取り組みに活かそうとされています。
2. アンケートの結果は、経年で比較されていて分かりやすくなっています。昨年と同様に95%近い生徒・保護者が「安心して生活や学習に取り組める学校」と評価されており、全項目について肯定的評価が多く、それが毎年継続されている点は明峰中学校の素晴らしいところであると感じます。授業への取り組み、行事や委員会・学級活動への取り組み、時間を守る意識、清掃活動について、生徒・保護者の92~95%が真面目に、積極的に協力して取り組んでいると評価されています。生徒が落ち着いて規律ある生活や学習に取り組む、体育大会・学習発表会・合唱コンクール等の行事でもまとまって一生懸命に頑張り、充実感や達成感を感じている姿が見られ、保護者も評価されています。評議員会は、生徒のひたむきな姿やそれを支える先生方の熱心な指導や支援を高く評価します。また、ホームページや通信で学校の日々の取り組みや生徒の様子を積極的に詳しく紹介されていることは、保護者にも非常に分かりやすくなっています。
3. 一方で20人を超える生徒や保護者が『（あまり）安心して生活や学習に取り組めない』と答えています。重点目標の『あいさつ』『たがいの尊重』『主体性』については生徒の評価は向上していますが、まだ保護者や先生の評価とずれが見られ、課題を感じます。先生方については、『わかりやすい授業づくりの工夫』や『生徒理解への努力』が保護者の4分の1近くに否定的評価が見られ、『困った時の対応』や『いじめへの取り組み』も50人を越える生徒・保護者が否定的評価となっていることは気になることです。先生方も、自己の取り組みを振り返り、課題を

明らかにして、改善に向けて取り組んでいただきたいと思います。

自由記述の意見には、先生方の生徒への丁寧な熱意あるかわり、行事の取り組みの素晴らしさ、清掃態度や靴箱など環境の美しさ、靴下の改正など評価されている意見も多くありました。しかし、先生方の生徒理解、言葉遣いや指導の仕方、分かりやすい授業づくり、学習の苦手な生徒への支援、テスト問題作成や評価の仕方、セーターを着る時期、部活動のあり方などについて意見や要望もありました。評議員会は、それらの意見を謙虚に受け止め、改善すべき点は真摯に努力し、丁寧な説明や対話を心がけていくことを要望します。ただ、学校や先生だけでは解決できない、教育行政や財政上の困難な問題もあります。保護者の皆様も、内容によっては意見や要望をできるだけ直接伝えたり、アンケートに記名されるなどして、状況を説明されたり、先生方の説明を聞かれるなど、直接対話する方法を考えていただくことを要望します。

4. 今年のアンケートの結果を見ましても、校長先生をはじめとする先生方の真摯な取り組みにより、また保護者の皆様の理解と協力により、明峰中学校における生徒たちの教育環境は大変良い状態が継続されていることが分かります。評議員会は、今後も明峰中学校の教育目標である『自ら考え、確かな学力を身につけた生徒を育てる－高い知性－』『人の尊さがわかり、共に伸びる生徒を育てる－豊かな心－』『たくましい体力、気力をもった生徒を育てる－たくましい力－』の実現に向けて、先生方と保護者の皆様が、学校と家庭においてそれぞれ子どもたちに対して丁寧に温かく関わり、心の通い合う取り組みを大切に積み重ね、総合的な「生きる力」を育んでいくことを強く望みます。そして、より良い明峰中学校をつくっていくために、先生と保護者の連携、地域の協力がますます大切であると考えます。

## 【「明峰中学校をよりよくしていくためのアンケート」の生徒・保護者の集計結果】

### ■グラフの見方について

#### (1) グラフについて

生徒15項目、保護者14項目についてアンケートを行いました。設問に対して、「よくあてはまる」「あてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4段階で評価していただきました。その結果を棒グラフに表しています。

#### (2) 評価について

グラフの右側に、肯定的な評価（「よくあてはまる」「あてはまる」）の合計を基準として、S～Dの5段階の評価と達成率（％）で示しました。

それぞれの評価の基準と意味は下の表のとおりです。

| 評価 | 評価基準（達成率）   | 意味                |
|----|-------------|-------------------|
| S  | 90％以上       | 優れている             |
| A  | 80％以上 90％未満 | 良 好               |
| B  | 70％以上 80％未満 | おおむね良好            |
| C  | 60％以上 70％未満 | 課題を明確にする必要がある     |
| D  | 60％未満       | 教育活動を根本的に見直す必要がある |

#### (3) 考察について

の中に、生徒、保護者それぞれの評価結果からわかることや今後の課題など、学校が考察した内容を簡単に記載しています。